

【厚生労働大臣奨励賞】(1事業場)

安全衛生に関する水準が優秀で、他の模範になると認められる事業場に対する表彰

鹿島建設株式会社 横浜支店 横浜支店ビル解体工事

SRC造 地下1階 地上9階建ての鹿島建設(株) 旧横浜支店ビルの解体工事において、計画段階、施行段階と2段階のリスクアセスメントを実施し、計画段階のリスクアセスメントにおいては、重大なリスク及び周辺環境を考慮した解体方法を検討した。躯体の解体には、解体重機を使用しない「鹿島スラッシュカット工法」を用い、建設現場において最も災害発生リスクの高い、高所作業の削減につなげた。

また、施行段階のリスクアセスメントにおいては、現場の実態に合致した作業手順を作成して作業員へ周知しリスクアセスメントを実施すると共に、安全大会、災害防止協議会において他現場で発生した災害も説明し、小さなことから危険の目を摘んでいくことで作業員一人ひとりの意識向上を図った。

これらの取組を通じて、令和6年4月8日から令和7年2月28日までの解体工事を無災害で完工した。



【神奈川県労働局長奨励賞】(2事業場)

地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組が他の模範と認められる事業場に対する表彰

安全確保対策

山九株式会社 横浜支店

港湾荷役、貨物取扱を中心とした物流業務を行っている事業場で、同じ支店内で業務が多岐にわたっているため、8つの小集団に分け、それぞれが関連する分野の協力会社と合同で、職場リスクアセスメント活動を実施している。また、月例安全衛生パトロールや作業標準の読合わせ、従業員の安全に対する理解度を高める活動も合同で実施し、各職場の実態に合った安全活動を推進した。

災害事故絶滅月間活動として、夏の熱中症対策、冬の飲酒対策のほか、転倒災害防止といった活動を昭和43年から長きにわたり継続している。これら取組を通じて、令和3年3月以降無災害を継続している。



健康確保(有害物)対策

株式会社オーバル 横浜事業所

計測管理機器、エネルギー管理用機器の製造販売を行っている事業場で、化学物質について、購入・使用に関し厳格な管理を実施している。購入時に SDS の確認とリスクアセスメントを実施し、購入量、保管場所、使用用途、使用場所、責任書を明確にし、安全管理者、衛生管理者、化学物質管理者、保護具着用管理責任者の承認を得た上で購入、使用している。また、化学物質に関するマニュアルを整備し、使用する労働者への教育体制を整備しているとともに、年1回、防じんマスク等のフィッティングテストを実施し、個々の作業者に適応した保護具を着用するようにしている。さらに、産業医が安全衛生委員会に積極的にに関わり、特に有害業務に従事する労働者に対し、産業医学面から細やかな健康管理を継続的に行っている。これらの取組を通じて、有害物の管理のみならず、近年、特殊健康診断の有所見者はおらず、かつ無災害を継続している。



【神奈川県労働局長安全衛生推進賞】(1人)

地域の中で、長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人に対する表彰

村永 敏夫

平成30年3月に神奈川県労働安全衛生協会横浜南支部事務局長に就任し、安全管理、衛生管理、労務管理の向上に尽力した。とりわけ、災害が多発している転倒・腰痛対策については、神奈川県産業保健支援センターと連携を図りながらセミナーを開催し、中高年労働者の身体機能の維持改善への取組を鋭意展開してきた。また、コロナ禍においても、労働基準監督署との連携を図りながら安全衛生関連のセミナーの運営に努めたほか、トラック運転者の労働災害防止に向けて、労働基準監督署と一体になって、荷主側に対し労働災害防止対策の重要性を重視してきた。令和6年8月の退任まで6年6か月にわたり、地域の事業場の労働災害防止に多大なる貢献をした。



労働安全衛生法では、働く人の安全と健康を確保し、快適な職場環境をつくるため、事業主に労働災害の防止に取り組むよう定めています。この表彰は、災害が起こっていない期間が特に長く、職場のリスクを低減する取組が特に活発に行われているなど、他の模範と認められる優良な事業場や、安全衛生活動を通じて地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献した個人をたたえるものです。